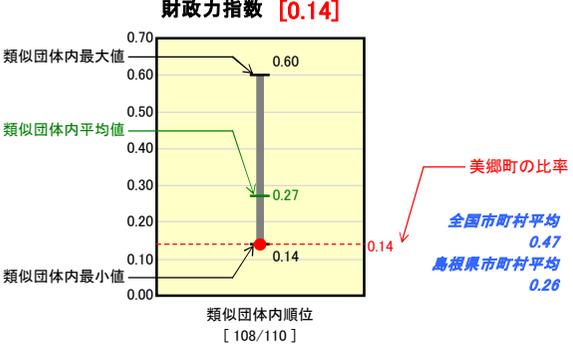


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

島根県 美郷町

人口	6,223人(H17.3.31現在)
面積	282.92 km ²
歳入総額	8,280,681千円
歳出総額	8,172,175千円
実質収支	105,544千円

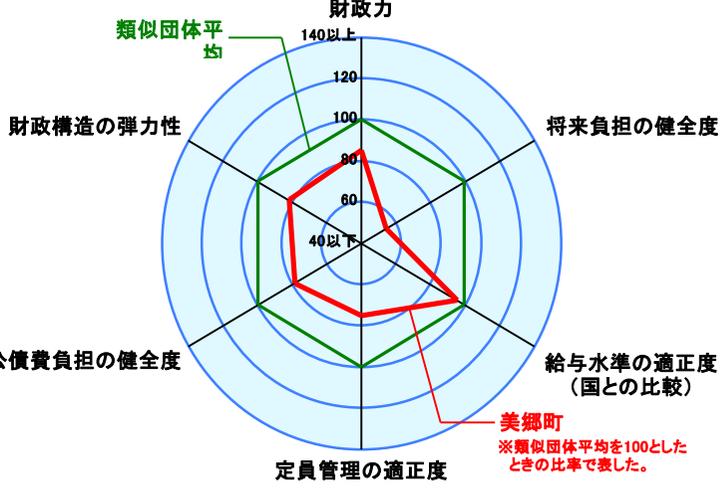
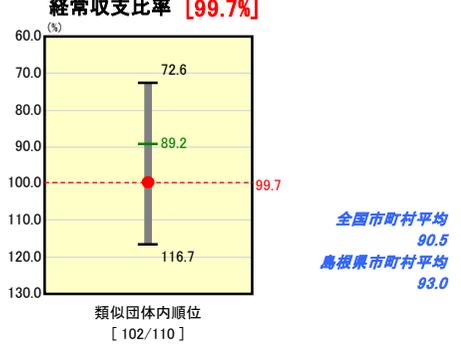
財政力



将来負担の健全度

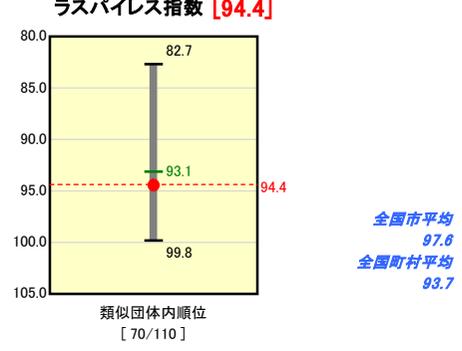


財政構造の弾力性

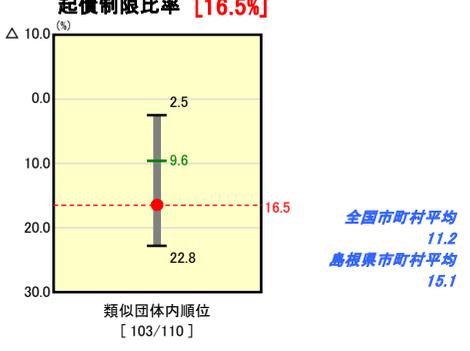


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



分析欄

【財政力指数】
人口の大幅な減少(H17国調5911人※対12国調▲713人)や、全国平均を大きく上回る高齢化率(H17.10末41%)に加え、町内に中心となる産業が無いため財政基盤が弱く、類似団体平均を大きく下回っている。

【経常収支比率】
合併年度の決算(H16)では99.7%と類似団体平均を大きく上回り、鳥根県下1位となった。この背景には、町内の景気の低迷にあわせ少子・高齢化により人口が減少し、税収が年々落込んでいるうえに交付税の大幅な縮減により、歳入が大幅に減少しているところに償還がピークを迎えたことによる公債費の増大が同時期に重なっている状況にある。H17年度、町では公債費負担適正化計画の策定、中期財政計画の見直しを行い、また民間有識者による行政改革審議会により示された行政改革大綱に沿ってH18年度予算を編成。H17年度においても削減してきた歳出全般について、H18年度にはさらに見直しをかけ、約7%の予算削減を行う予定である。

【起債制限比率】
平成初年度に行った普通建設事業の償還がピークを迎えている時期であり、類似団体平均を大きく上回っている。H17年度策定の公債費負担適正化計画に基づき、普通建設事業にも大幅な縮減をかけ、新規債を抑制するとともに繰上償還にも努めている。

【人口1人当たりの地方債現在高】
現在の地方債現在高の増大の背景には、平成初年度に景気対策に伴う地方債の発行によるものの比率が大きい(H17末現在高11,884百万円のうち約60%が交付税措置保証分※町独自試算)

【ラスパイレス指数】
平均よりやや上回るが、合併後より給与体系の見直しを行っている最中である。

【人口1,000人当たり職員数】
合併直後のため、職員数は平均より多くなっているが、町では定員適正化計画を策定し(H18予定)適正な人員配置に努める。
※普通会計職員数目標数値(適正化計画案案による) [H17.4.1] 121人 ⇒ [H27.4.1] 80人

定員管理の適正度

